

事業番号	15 05 04	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	魅力ある高校づくり推進事業費				担当課	部局	教育委員会事務局		
						課・室	教学指導課		
総合5か年計画	プロジェクト					E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開				実施期間	H7 ~			

1 事業の概要

目指す姿	新学習指導要領の趣旨に則り、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するために教育課程編成を工夫し、引き続き生徒の能力、適性、興味・関心の多様化と希望進路の多様化に対応するために、各高等学校は教育課程の弾力化を図り、県は必要な非常勤講師を配置する。これにより、多様化したすべての生徒に対して、確かな学力を保障するとともに、社会で求められる生きる力の育成を図り、希望する進路を保障する。								
現状（予算編成時）	新学習指導要領の趣旨を実現するために、教育課程編成における新たな工夫が必要になっている。また、生徒の進路の多様化への対応も変わらず求められており、各校の教育課程編成における取組を引き続き支援するために非常勤講師の配置が必要である。								
県が関与する理由	県関与の必要性あり				【左記の説明、根拠法令等】 学習指導要領				
	県民との協働による実施： 検討中								

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)								
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力実態調査(高2)での基礎学力定着度(正答率)の向上を目指し、H27年度国語65.7%、数学61.8%、英語61.1%を目標とする。 ・コース、類型・選択制に関する意識調査の生徒満足度84.3%を目標とする。 								
	② 事業内容 (単位:千円)								
		項目	実施方法	H27事業実績		H27		H28	
					(当初)	(決算)	(当初)		
		教育課程改善事業費	直接	新学習指導要領の実施に伴い、新教育課程への円滑な移行を図るため、教育課程の研究を行い、周知を図った。	4,767	4,767	5,187		
		カリキュラム編成支援事業(旧 コース制、類型、選択制の導入、探究活動・特別活動等の充実、個別学習)	直接	・「21世紀型学力」の育成に係る各課題に対応するカリキュラムを実施するために必要な非常勤講師を配置 ・「学び直し」に係るカリキュラムの編成・実施のために必要な非常勤講師を配置	100,221	93,574	100,223		
		コンピュータ整備事業	直接	普通科を置く県立高校67校に整備した各校41台のPCの内、23校のPC及びソフトを更新(うち7校にタブレット型PCを導入)	87,696	87,501	88,378		
	教育課程研究指定校事業	直接	教育課程の編成、指導方法及び評価方法等の工夫改善に関する実践研究	392	184	394			
	自立的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究	直接	学校運営体制の強化や総合力を高めるため、研究指定校による調査研究	1,031	991	1,106			
	土曜授業推進事業	直接				1,161			
			合計	194,107	187,017	196,449			

事業 コース ト	区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	189,676	189,086	194,107	196,449
	補正予算		-4,391		
	合計(A)	189,676	184,695	194,107	196,449
	一般財源	189,676	184,695	189,153	190,257
	県債				
	国庫支出金			4,954	6,192
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	187,060	183,002	187,017	
概算人件費	職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
	概算人件費(C)	5,781	5,781	5,793	5,793
	概算事業費(B(A)+C)	192,841	188,783	192,810	202,242

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国65.6% 数61.7% 英61.0%	国65.7% 数61.8% 英61.1%	国66.0% 数62.1% 英61.1%	達成	国64.7%以上 数59.8%以上 英59.6%以上
コース、類型・選択制生徒満足度	84.2%	84.3%	84.6%	達成	84.6%

目標に対する成果の状況	・国語・数学・英語の基礎学力定着状況並びに、コース及び類型・選択制生徒満足度については、両項目とも目標を達成できた。進学対策講座や基礎学力の確実な定着等に取り組み、学ぶ意欲や問題解決力の向上を目指し、伸びる力を一層伸ばしていく。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の全面実施が年次進行し、各高校の教育課程の編成にも新時代の学力向上に対応するための工夫が求められているので、引き続きの実施と充実が求められる事業である。 ・特に、急速にグローバル化し、変化する社会に求められる力としての「21世紀型学力」を育成するためのカリキュラム編成を促進するとともに、普通科コンピュータ整備に当たっては、生徒自身が主体的に行動、協働することで課題発見や解決方法を見出すための「アクティブ・ラーニング」の学びを通じたICT機器の活用を図るため、タブレット型端末の導入を図っていく。 		